

秋田の土地改良

新年号

2013.JAN



▲特大絵馬（秋田市・総社神社）

被災地の一日も早い復興を、お祈り申し上げます。



がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

新年のごあいさつ(水土里ネット秋田会長 高貝久遠)……………	2	第2回秋田県土地改良区統合整備検討委員会……………	11
年頭のごあいさつ(秋田県知事 佐竹敬久)……………	3	平成24年度換地計画事務研修……………	11
新年のごあいさつ(秋田県議会議長 大里祐一)……………	4	水土里情報システムによる果樹園地データベース構築の取り組み……………	12
新年のごあいさつ(秋田県農林水産部長 藤井英雄)……………	5	大潟土地改良区創立40周年記念式典、県内事業竣工……………	14
平成24年度秋田県土地改良事業推進大会……………	6	第2回秋田県地域伝統芸能大会、平成24年秋の叙勲受賞者……………	15
第35回全国土地改良大会沖縄大会……………	8	農業農村整備フェア、2012語り部交流会 in あきた……………	16
「第15回全国農業担い手サミット in あきた」開催される……………	8	会員だより、連合会日誌……………	17
要請活動(東北・北海道土地連連絡協議会)……………	9	施設賠償保険・団体傷害保険のお知らせ……………	18
平成24年度土地改良関係団体役員講習会(開催報告)……………	10	謹賀新年あいさつ……………	18



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
 TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>





新年のごあいさつ

秋田県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット秋田)

会長 高 貝 久 遠

明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに輝かしい平成25年の新春を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。また、平素から農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営に、ご理解とご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨冬は、「平成18年豪雪」に匹敵する積雪があり、春先には、「爆弾低気圧」による台風並の強風に襲われ、夏は、勢力の強い太平洋高気圧の張り出しによる猛暑日が続いて、まさに、自然の猛威を実感させられるものでありました。しかしながら、秋は好天に恵まれ、本県の稲の作況指数も100の「平年並み」まで回復するとともに、本県産米が、需要拡大によって価格が上昇し、会員の皆様は、安堵の秋を迎えられたと存じます。

さて、本県の基幹産業である農業は、先人達によって切り拓かれ、保全されてきた、雄物川、米代川、子吉川の三大河川の流域盆地や海岸平野に展開する、広大で肥沃な美田を中心として営まれており、国民の生命を育む食料の安定生産に大きく寄与してきました。

しかし、本県農業・農村が今後とも持続的に発展し、我が国の食料自給力の向上に一層貢献していくためには、これら優良農地や農業水利施設の整備を継続的かつ安定的に実施する必要があり、師走26日に発足した第2次安倍内閣

には、先の政権政党によって大幅減額された農業農村整備関係予算の復活が、大いに期待される所であり、

また、聖域なき関税撤廃を原則とするTPP協定は、従来の米単作から、大区画ほ場整備事業等の推進による、土地利用型農業への変革に果敢に取り組んでいる、本県農業・農村においては地域社会の崩壊につながるものであり、安倍内閣、与党には、国民的議論を経た、慎重な対応を求めるものであります。

本会としましては、会員各位、全国の水土里ネットの仲間との結束力により、関係予算の復活に傾注して参ることは無論、TPP問題に関しましても、農業を始めとする国益を守るため、県内、国内各種団体との連携により、的確に対処して参りたいと存じますので、会員皆様の格段のご理解、ご協力をお願い致します。

新しい年の幕開けに際し、皆様に親しまれ、信頼される水土里ネット秋田を念頭に、更なる技術力・指導力の向上と、自己改革による組織基盤強化に努める所存であります。各水土里ネット、各市町村の会員を始め、関係各位におかれましては、本会の運営等に対しまして、更なる、ご支援、ご協力を下さいますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、新年のご挨拶と致します。



年頭のごあいさつ

秋田県知事

佐竹 敬久

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、県内では、皇太子殿下のご臨席の下「第23回全国『みどりの愛護』のつどい」と「第15回全国農業担い手サミット・イン・あきた」が開催されたほか、秋田市中通の「エリアなかいち」のオープン、日本海沿岸東北自動車道「金浦・仁賀保」間の開通、全国和牛能力共進会での本県産和牛の優等二席など、秋田を元気にするニュースが多く、大変嬉しく感じております。

一方、政治・経済の分野では、東日本大震災からの復興を目的とした復興庁の発足や、再生可能エネルギー固定価格買取制度のスタート、社会保障と税の一体改革関連法の成立、そして年末の衆議院議員総選挙の結果を受けた政権交代など、これからの国の姿に大きな影響を与える動きのあった1年となりました。

今年は、県政の運営指針である「ふるさと秋田元気創造プラン」の最終年度にあたり、これまでの取組の総仕上げの年となりますが、まずは、喫緊の課題である本県経済雇用情勢への対応を最優先に、金融対策、雇用対策、消費の下支え事業など、総合的で切れ目のない経済雇用対策を引き続き展開するとともに、次世代自動車関連産業、新エネルギー関連産業、資源リサ

イクル産業などの成長分野への参入促進や、新たな農業・農村政策、少子化対策、総合戦略産業としての観光の振興などに重点的に取り組んでまいります。

農業農村整備の分野におきましては、戦略作物の生産拡大や担い手への農地集積等と一体となったほ場整備を県の重点施策として、今後も着実に推進していくとともに、老朽化した農業水利施設の更新整備を進め、災害に強い安全安心な農村社会の形成を図ってまいります。

本県の農山村の豊かな自然環境や美しい景観は、かけがえのない県民共有の財産であり、これまで水土里ネットは、その基盤となる農地や農業用水等の維持・保全において中心的な役割を担ってこられました。今後も農地等の多面的機能が持続的に発揮され、元気で活力ある農業農村が次世代に継承されるよう、水土里ネットをはじめとした関係団体と、国、県、市町村が、適切な役割分担と一層の連携を図りながら、農業農村整備事業の推進はもとより、地域と一体となった農村環境の保全活動を充実させていきたいと考えております。

結びに、新しい年が水土里ネット会員の皆様にとって希望に満ちあふれた飛躍の年でありますようご祈念申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

秋田県議会議長

大里 祐一

新年明けましておめでとうございます。

水土里ネット会員の皆様には、日頃から農業の基礎的資源であります農地・農業用水とともに農村環境などの良好な保全を通じ、本県農業・農村の振興と活性化に御貢献いただいておりますことに、県議会を代表しまして心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、皇太子殿下の御臨席を仰ぎ、全国各地から多くの方々をお迎えし、「第15回全国農業担い手サミット in あきた」が盛会に開催されました。本大会で、「あきたこまち」に代表される秋田米や、野菜、果樹、花き、畜産など、秋田の多様な作目を全国にアピールし、地域交流会を通じて、担い手自らの経営や活動を語り合うことで、様々な困難や課題を克服していく機運が高められたことは、誠に喜ばしい限りであり、関係の皆様にも心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の本県農業を顧みますと、4月早々の暴風被害に加え、夏場の記録的な高温少雨により、米の作柄低下が心配されましたが、農家の皆様の御努力はもとより、農業用水の確保など、土地改良区の皆様の御努力もあり、作況指数が100と平年並みの作柄が確保されました。一方、米の取引価格は、東日本大震災以降の需給逼迫により、平成23年産米の市中相場の高騰を受け、24年産米の取引では、一昨年以上の高値でスタートしました。

また、25年産米の生産数量目標が11月に農林水産省から発表され、国全体で目標数量を減らしている(0.3%減)なか、本県分は24年産米に引き続き増加(0.6%増)となりました。

水土里ネット会員の皆様には、これまで本県農業・農村づくりの一翼を担い、社会の共通資本であります農地・農業用水の資源と環境の保全に取り組みされ、優良な農地の確保とその有効活用に御貢献いただいておりますが、今後とも、本県農業の更なる進展に向けて、これまで培ってきた英知を遺憾なく発揮され、なお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

県議会といたしましても、県民が心から誇りに思える郷土秋田を、子や孫の世代に引き継ぐために、皆様とともに、本県農業が持続的に発展する各種施策の着実な推進に向け、努力を重ねてまいる所存であります。

終わりに、本年が水土里ネット会員の皆様にとりまして、より良い飛躍の年となりますことを御祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。